



<むすびえ × ケロッグ>
「ケロッグ毎日朝ごはんプロジェクト」
こども食堂における“こどもの朝食”に関する
現場の実態調査アンケート

結果報告

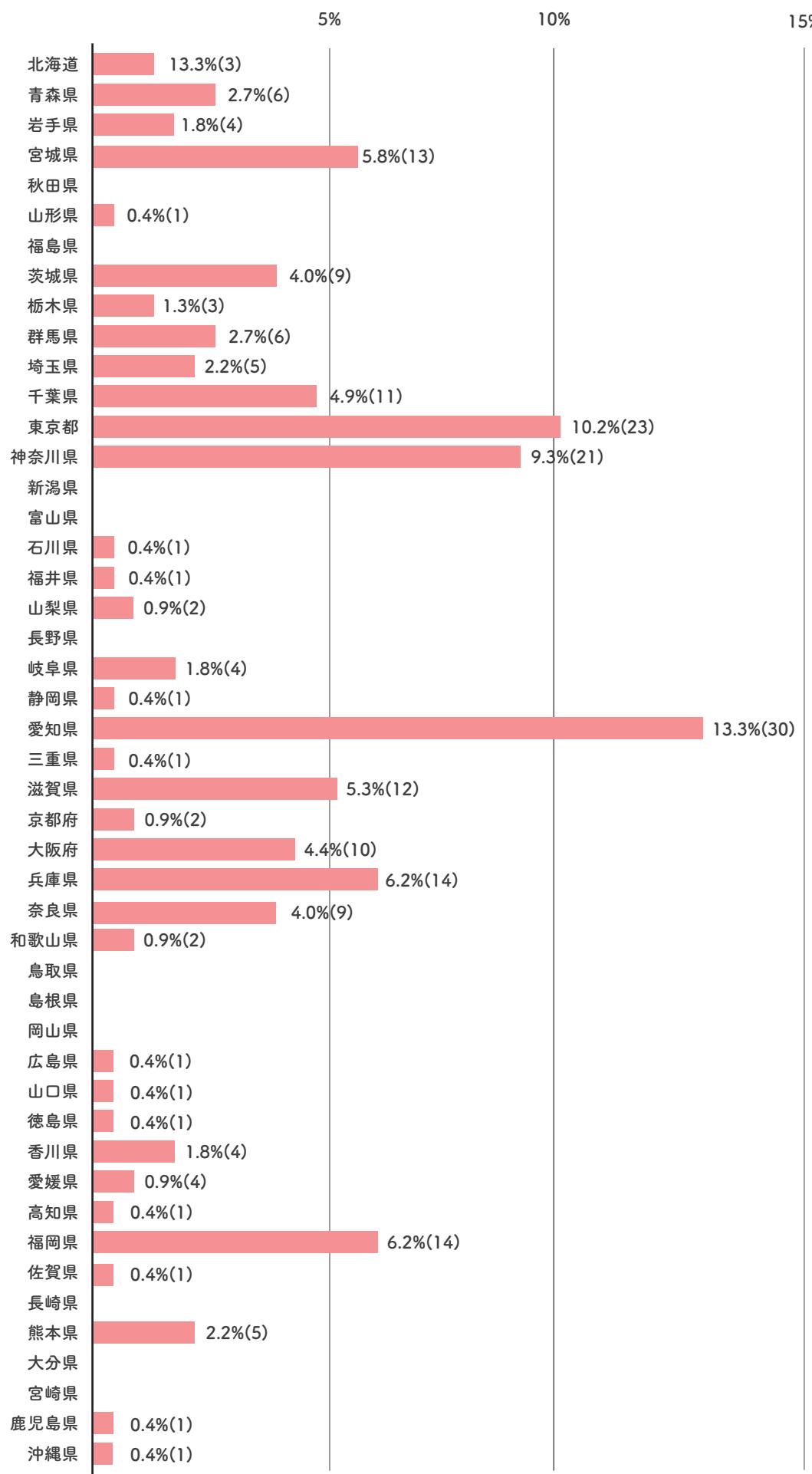
回答期間 : 2023年3月24日～4月7日

回答対象 : 各地の「こども食堂ネットワーク」とつながるこども食堂の運営者

回答数 : 226名

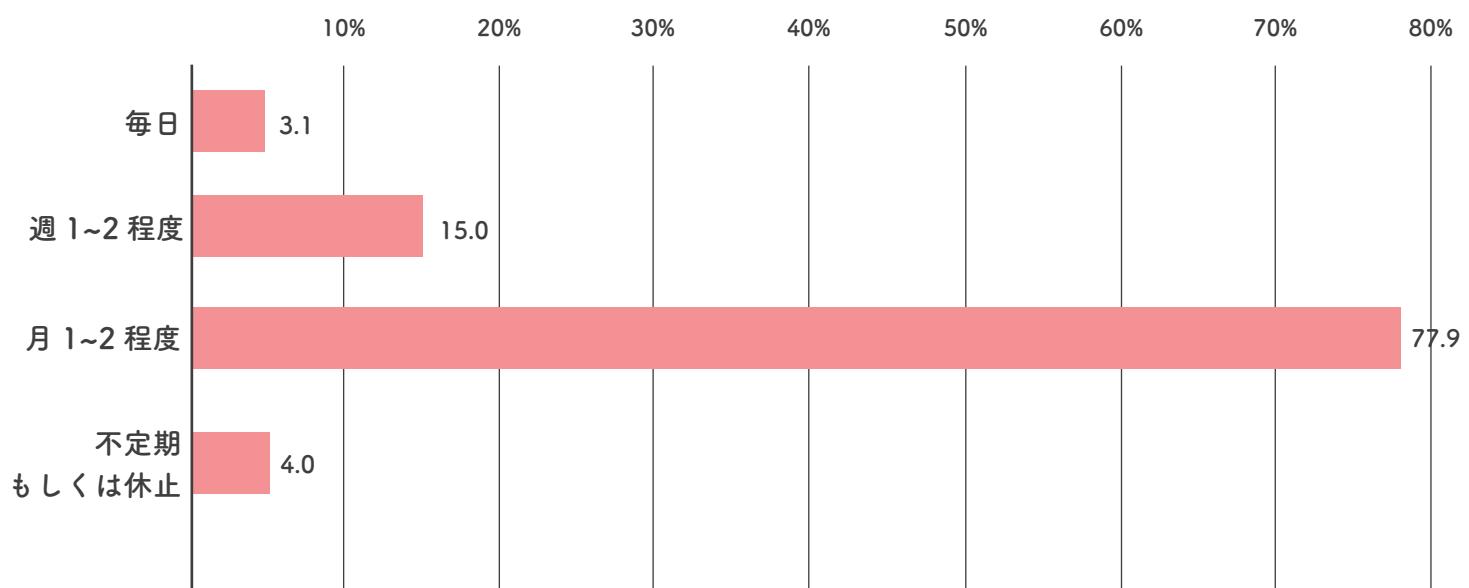
実施 : 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
日本ケロッグ合同会社

Q1. 現在運営しているこども食堂の所在地を教えてください



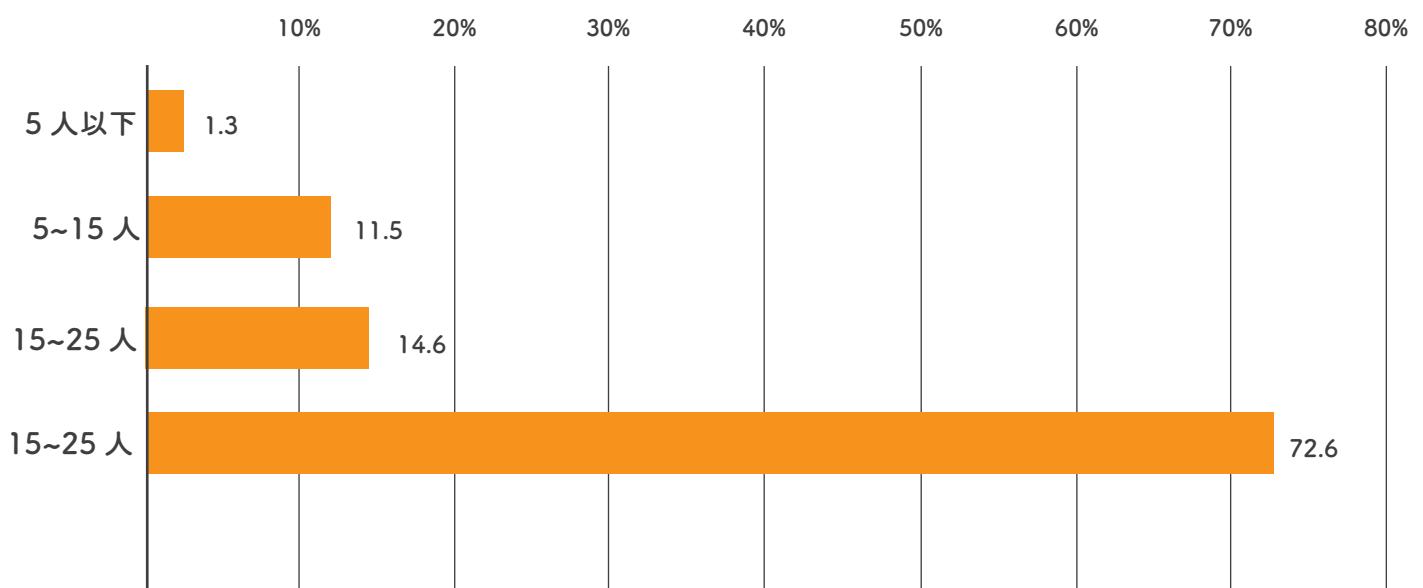
Q2. 運営しているこども食堂の開催頻度を教えてください

(回答数: 226)
単位: %



Q3. こども食堂開催時の1回の利用者数は次のうちどれですか？

(回答数: 226)
単位: %



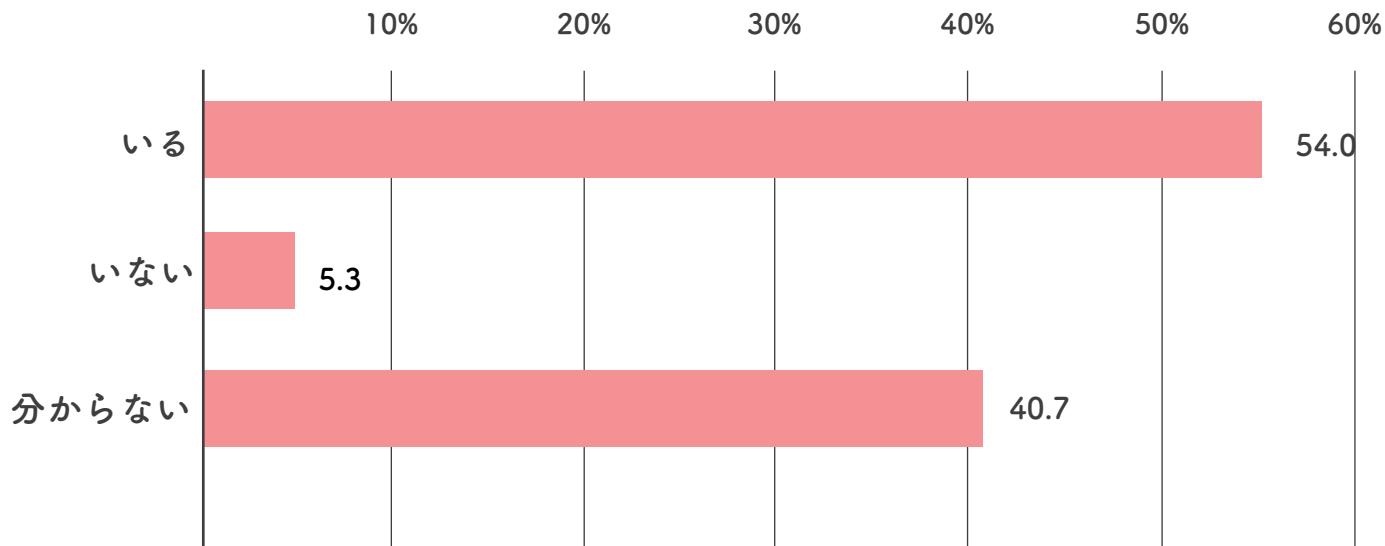
Q4. こども食堂に通う子どもたちの中で、

(回答数: 226)

単位: %

「朝食を毎日食べていない」と聞いたことがある

(知っている) ような子どもはいますか? (週1回でも食べていない子どもも該当します)

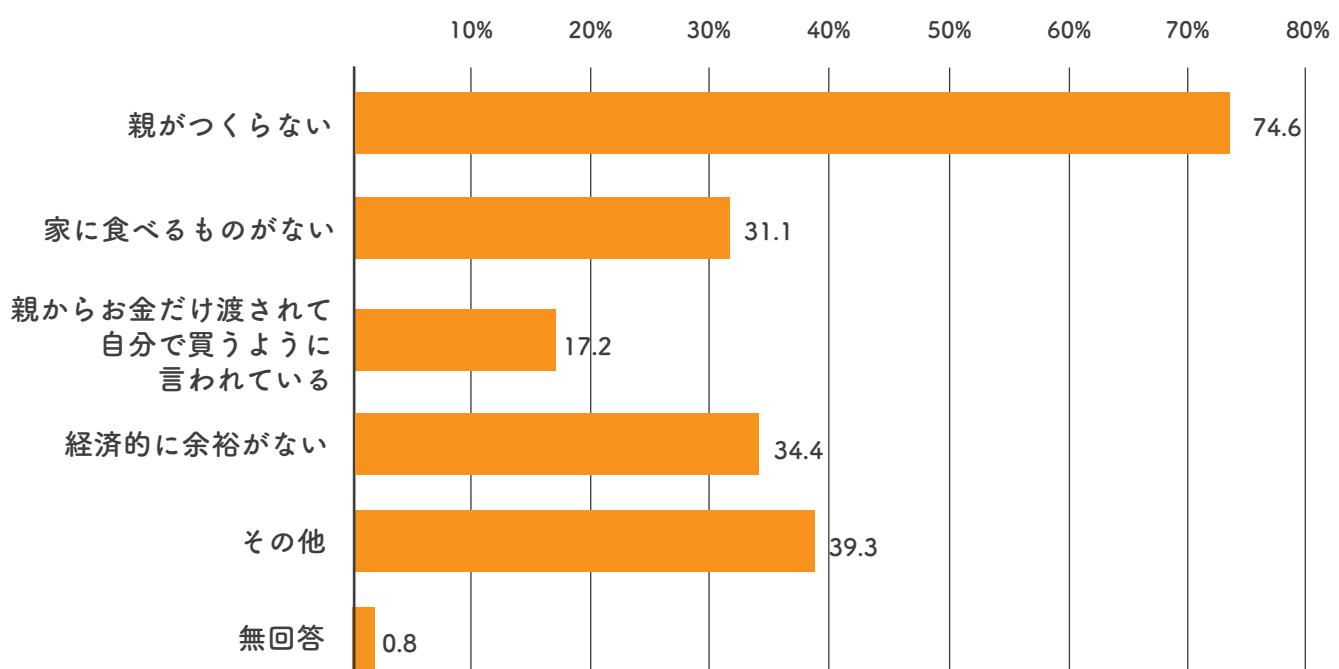


Q5. (Q4で「いる」の方のみ) 子どもの朝食を食べていない理由は

次のうちどれに当てはまりますか? (複数回答)

(回答数: 122)

単位: %



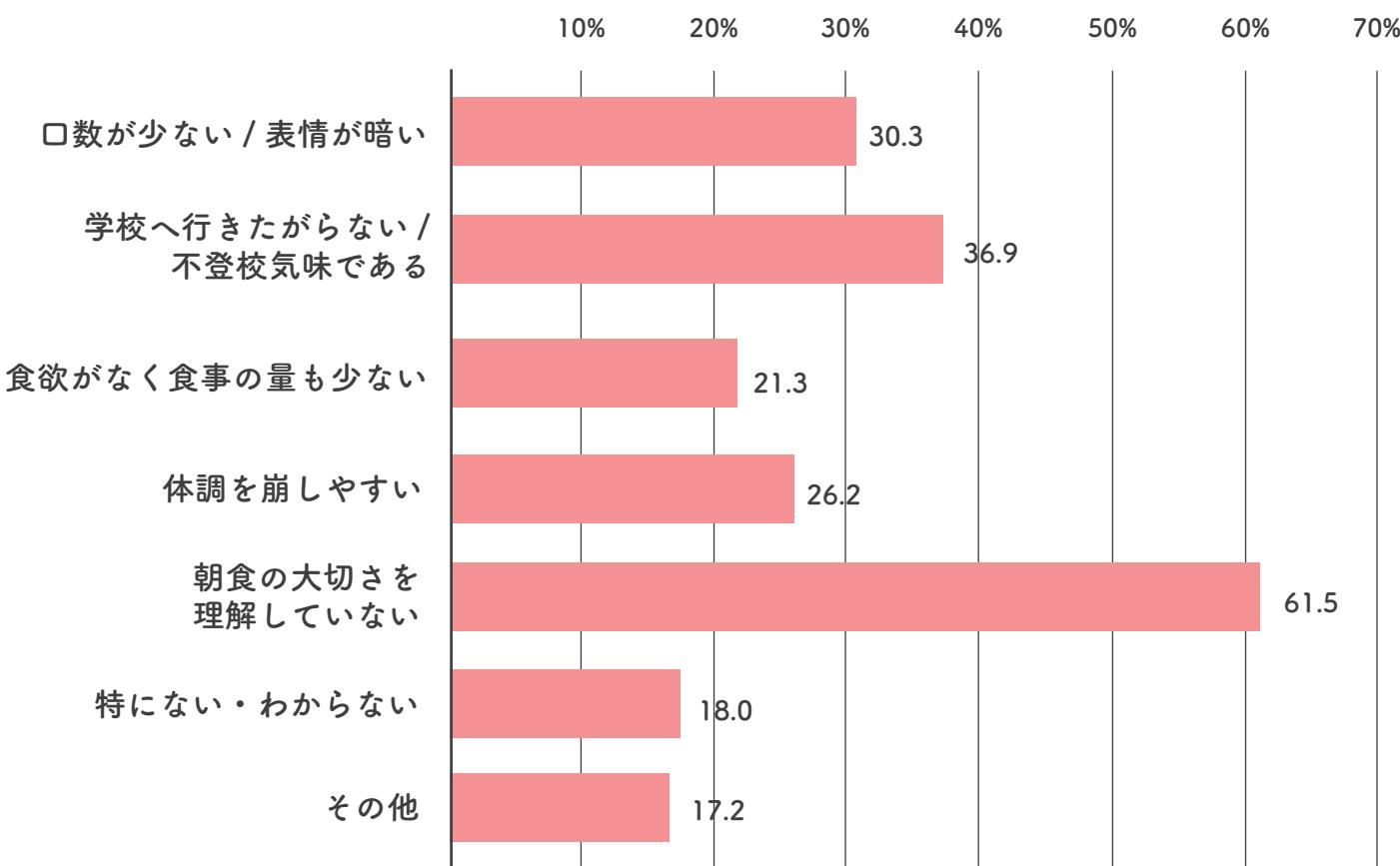
< その他のコメント >

子ども達が朝起きないから準備しない / 食欲がない (夜更かしされているのかも) / 幼少期から朝食を食べる習慣がないため。 / 用意されているが好きなメニューではない / 母子家庭世帯で朝ごはん作らないので、持ち帰りのご飯やおかず、食品ロスでいただいたパンの持ち帰りが嬉しいという声を聞きました。 / 朝起きた時には親が仕事に出かけていて起きて学校に行くのが精一杯と聞きました。 / 時間がなく食べてもほんの少しだけ。 など

Q6. (Q4で「いる」の方のみ) 朝食を毎日食べていない子どもには、

どのような特徴、傾向が見られますか？（複数回答）

(回答数: 122)
単位: %

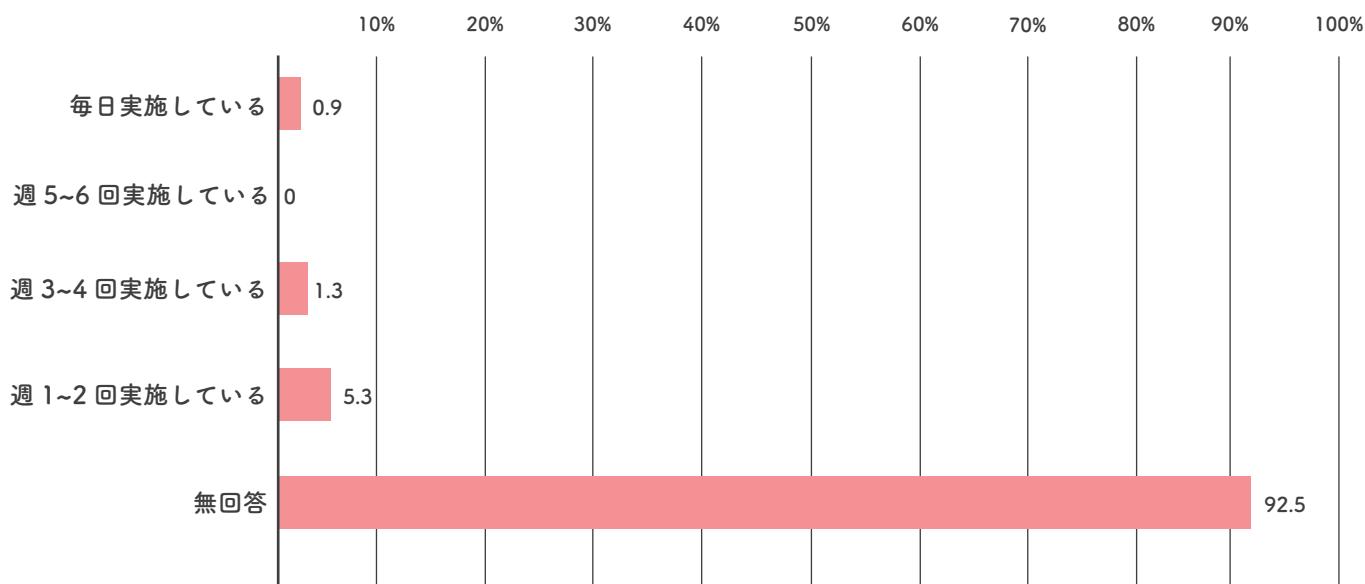


< 他のコメント >

落ち着きがなく、学力や理解力が低い傾向にある。/ 授業に集中するのがむずかしい。/ 怒りっぽい / 偏食 / お腹が空きすぎて胃が痛くなったり、朝食べていない分を一気に食べる所以で口内炎が出来ていたりする。/ 元気がない、疲れやすい / 好き嫌いがある子供が多い、元気がない、食に関心がない。など

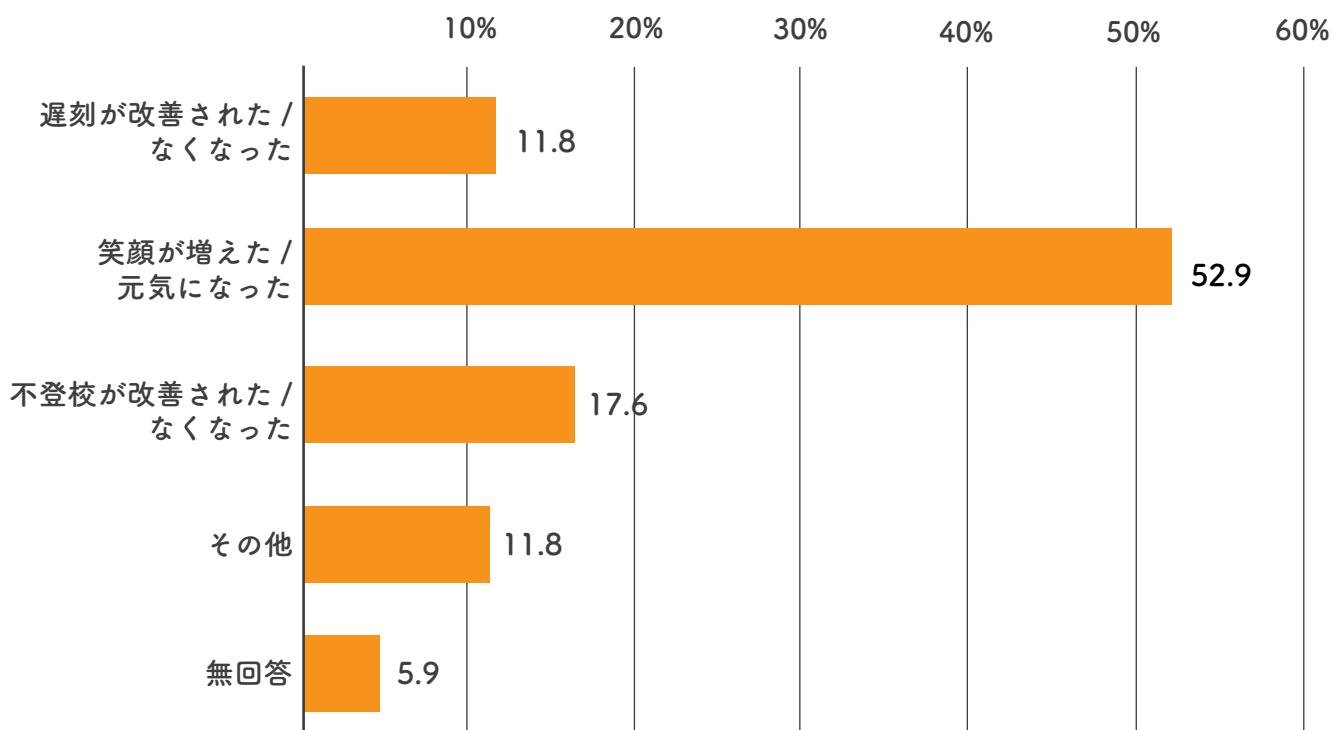
Q7. 現在、こども食堂で朝食の提供を どれぐらいの頻度で実施していますか？

(回答数: 226)
単位: %



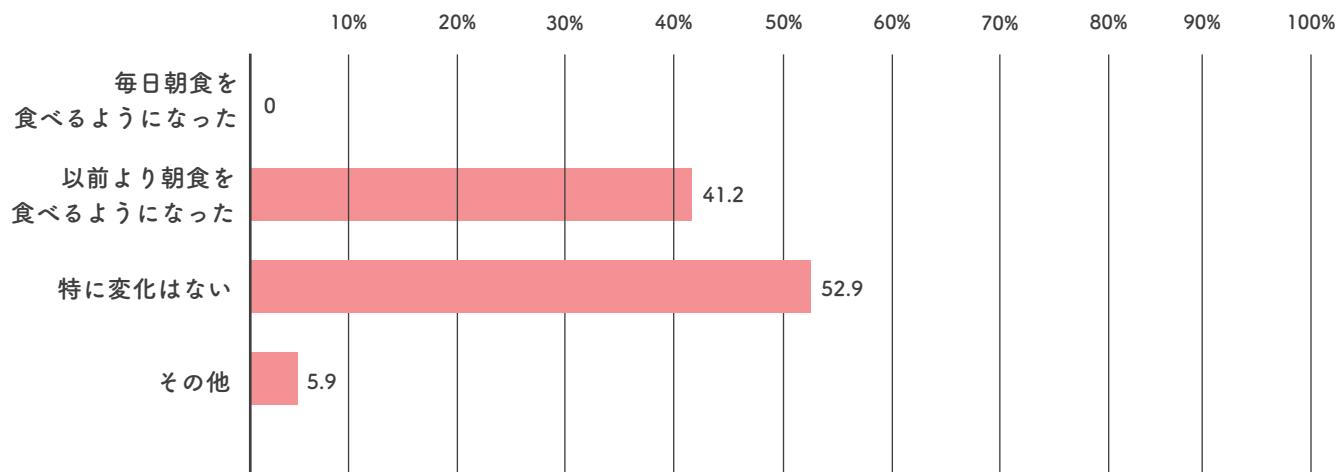
Q8. (Q7 で「している」の方のみ) 朝食を提供し、 子どもたちにどのような変化がありましたか？

(回答数: 17)
単位: %



Q9. (Q7で「している」の方のみ) 朝食提供の前後で、

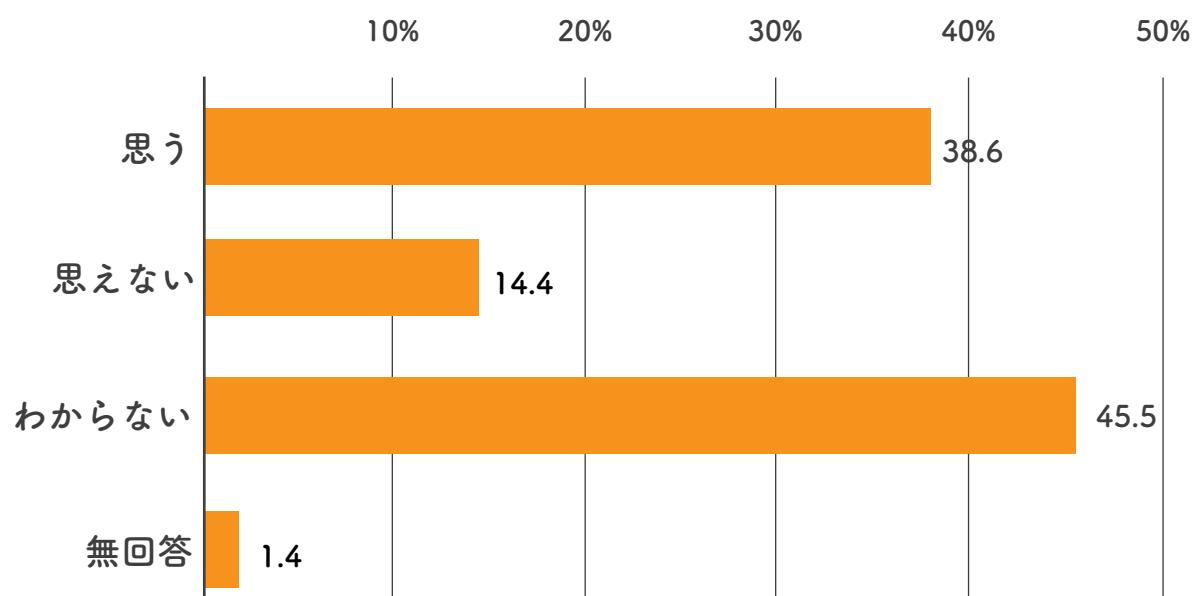
子どもたちの朝食欠食においてどのような変化がありましたか？ (回答数：17) 単位：%



Q10. (Q7で「していない」の方へ) 今後、

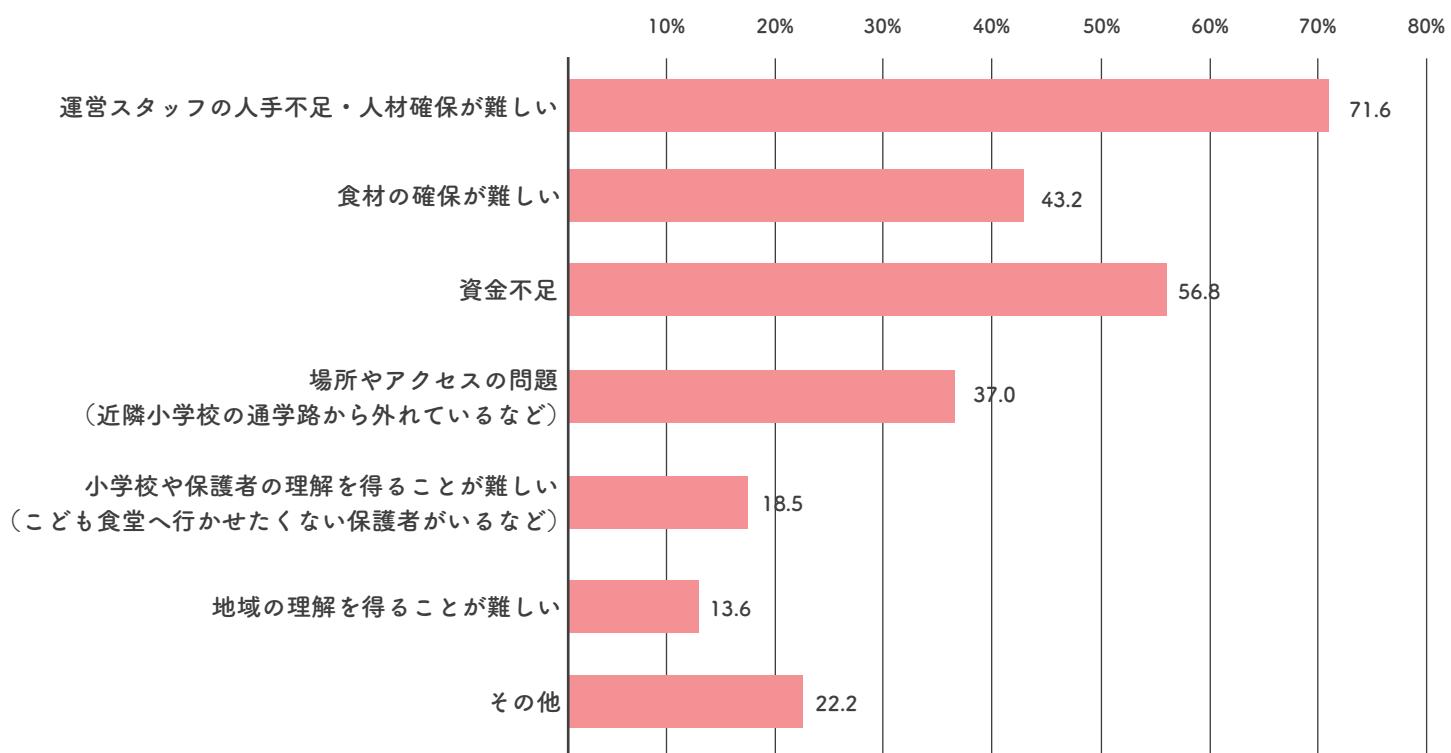
朝食の提供をしたいと思いますか？

(回答数：209) 単位：%



Q11.(Q10で「思う」の方へ) 現状、朝食の提供が
できていない理由のうち上位2つはどれですか？（複数回答）

(回答数: 81)
単位: %



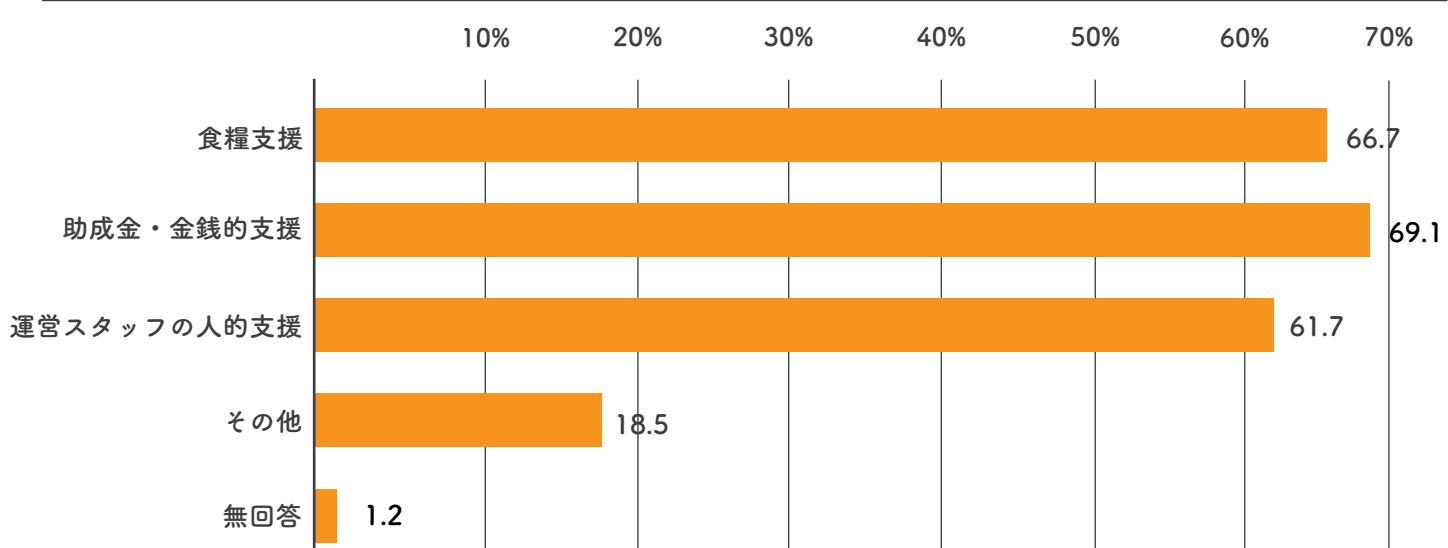
< その他のコメント >

本業があるので厳しい / 朝の食堂は必要だと強く感じているが、それをすることで、親は更に何もしなくなる / 公民館で開催しているので、その公民館の開館時刻が9時であることが最も大きな理由 / 需要はあると思うが、周知することが難しいのでどれだけ来られるかなど

Q12. (Q10で「思う」の方へ) どのような支援、

(回答数: 81)
単位: %

サポートがあれば朝食の提供ができると思いますか？（複数回答）

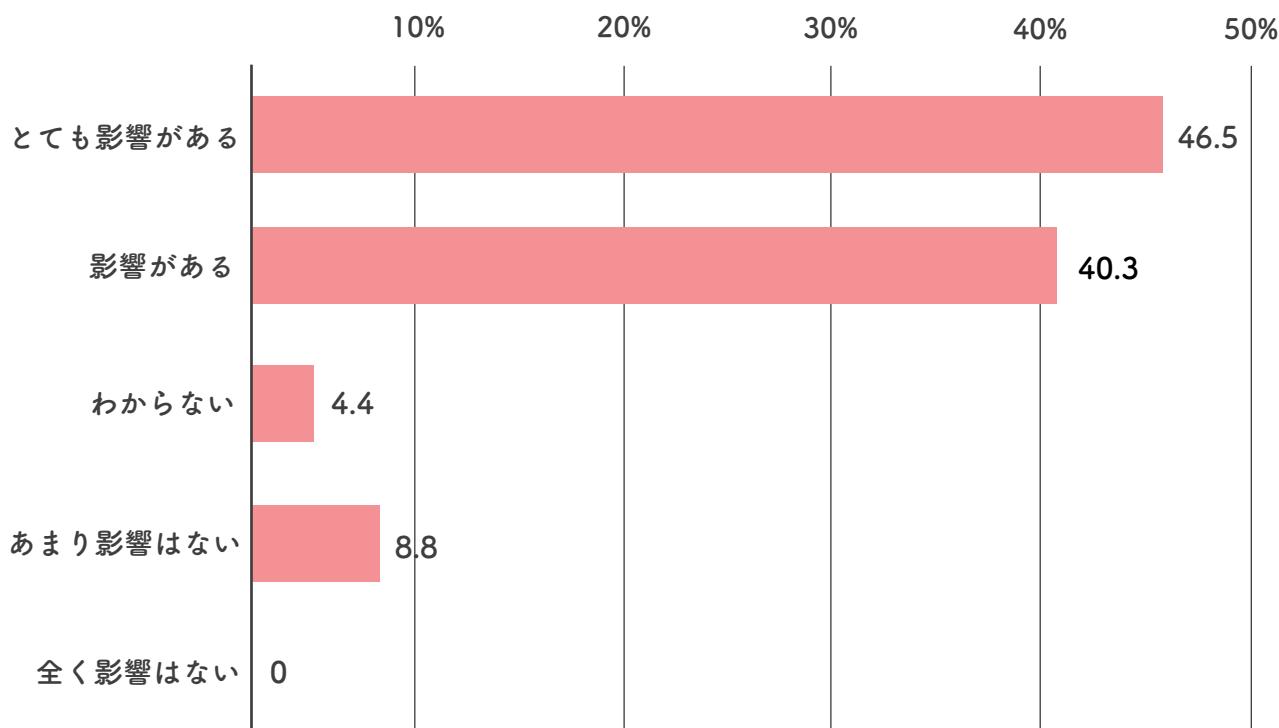


Q13.2023年になってからの物価上昇は

こども食堂の運営に昨年以上の影響がありますか？

(回答数: 226)

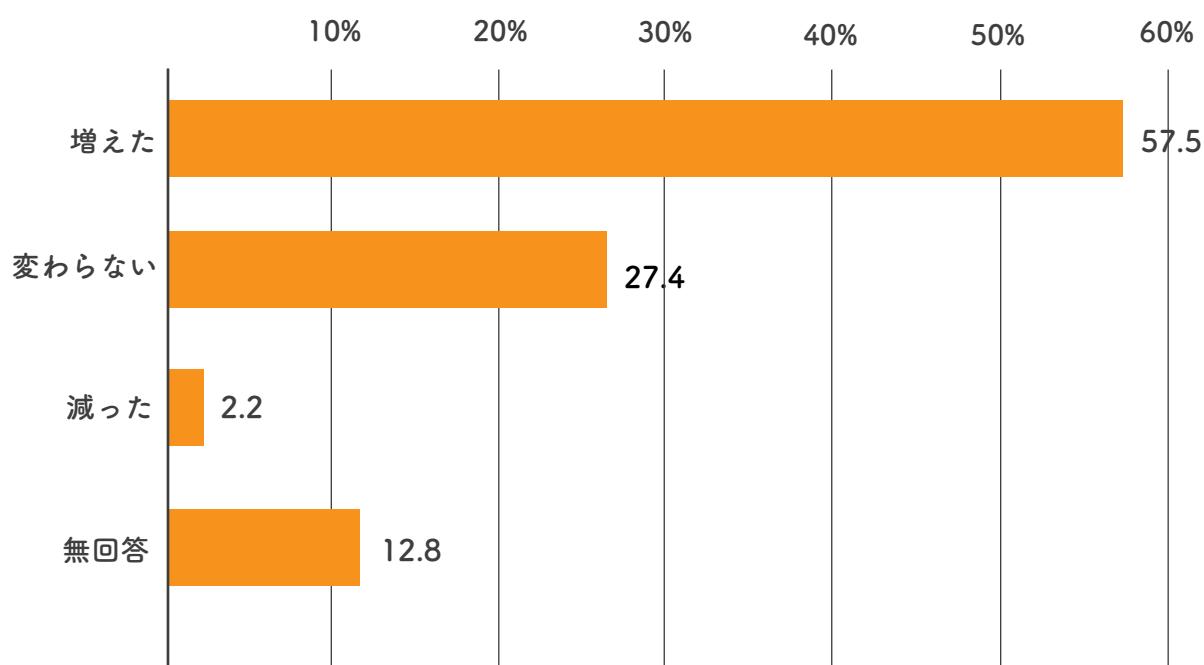
単位: %



Q14. 子ども食堂を利用する人数には変化がありましたか？

(回答数: 226)

単位: %



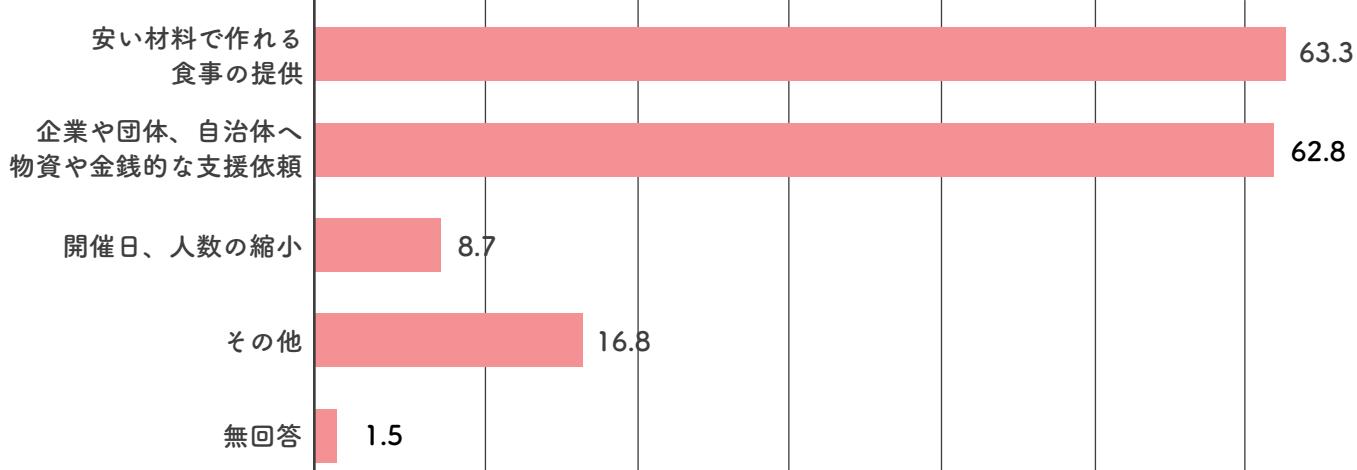
Q15.(Q13で「とても影響がある」「影響がある」の方へ)

感じている影響に対し、現在工夫していることは

(回答数: 196)

単位: %

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



< その他のコメント >

助成金、補助金の活用 / 持ち出しの増額と労働力の増加 / フードドライブを積極的に発信 / 今後開催日を少なくすることも検討 / 同じ子ども食堂のネットワークを生かして食材等の支援を受けてる / 近隣の企業への支援依頼を検討中 / 自己負担増加 / 経済的に支援が必要な方は他の機関へつないでいるなど

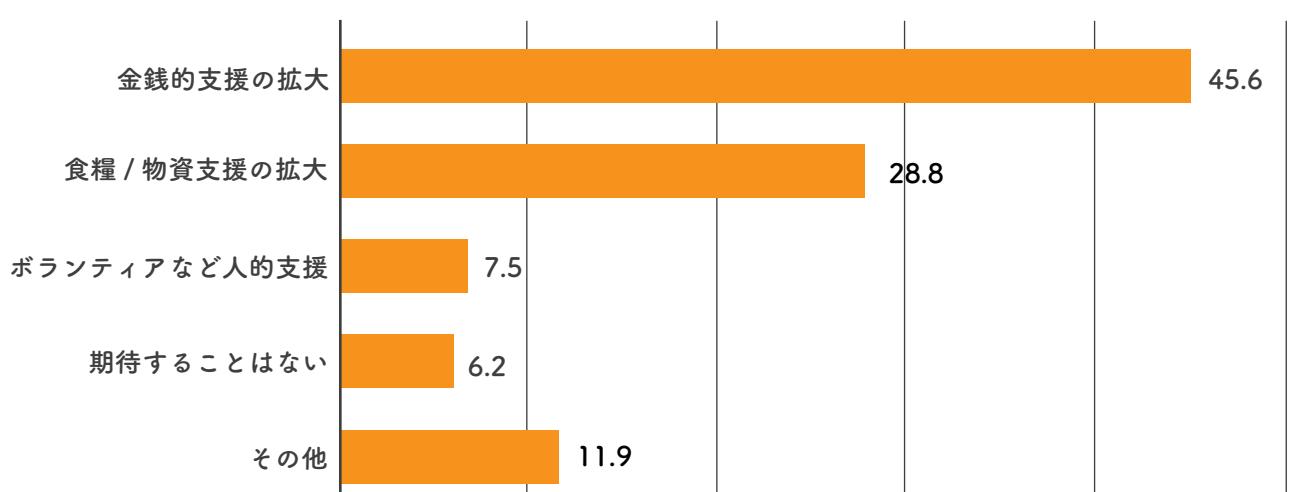
Q16.2023年4月の子ども家庭庁発足に伴い、

期待することは何かありますか？

(回答数: 226)

単位: %

10% 20% 30% 40% 50%



< その他のコメント >

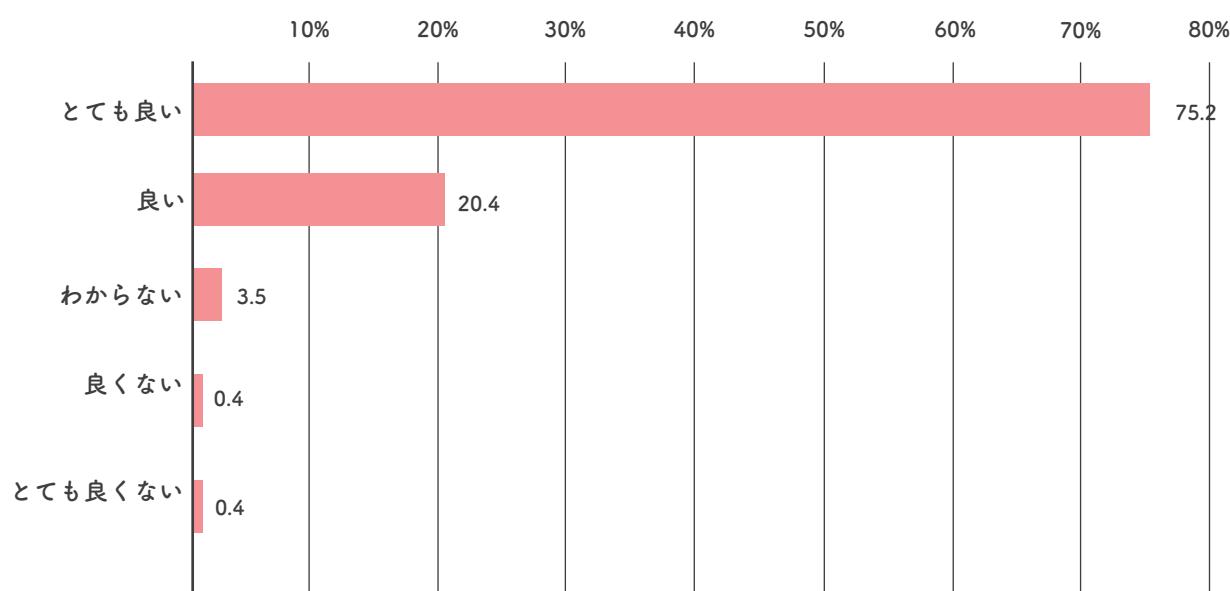
子どもを含む家族全体のケアの充実 / 事務局の人件費補助 / 空き家利用、学校の空き教室などを倉庫に使わせてほしい / 子ども食堂がなくても食や関わりに困らない社会になること / こども食堂の正しい理解の促進 / 本当に届けたい対象にコミット出来るようなシステムが欲しい / 若い世代からの意見の取り入れ / 自治体を超えてしっかりとした物資の支援、予算の支援 など

Q17. 「地域交流の拠点（第三の居場所）」になりつつある

こども食堂について、次のうちどう思いますか？

(回答数: 226)

単位: %



Q18. 今後、子ども食堂をどのような場所にしていきたいですか？

目標などありましたら教えてください。（自由回答）

(回答数: 196)

<コメント>

- ・地域交流の場として活用できる場所にしたい
- ・社会インフラと同様の生活必需にしたい
- ・居場所づくりとして毎日開催できたら理想的だと思う。ただ、現実的にはかなり困難ではある
- ・居場所としては増えることはよいですが、課題解決のために利用されるのは違うと思っている
派手なイベントばかりをするのではなく地道に継続を目指す
- ・今のところ、作って渡すだけなので、子供たちとゆっくり話せたらいいな、と思います
- ・ボランティアのマンパワーに頼っていると限界があると思う
飲食店の協力が得られる方法をつくっていくのも、ひとつの方法だと思う
- ・食事の提供だけでなく、不登校や引きこもり、発達障害の支援、保護者とのつながりができるような
居場所づくり。学習習慣の定着のために、日頃から利用できるような場所が欲しいと考える
- ・こどもたちにとってはもちろんのこと、地域の方々も集まっているお知恵とお力を貸していただいてます。
そのことを無駄にしないようにどの方にとっても居場所になるようにと考えています
- ・学習指導の機会を増やし、内容の充実を図りたい
- ・不登校児童への学習支援により、不登校の改善、学習意欲の改善、進学意欲の向上など活動による成果があり、
活動の重要性を実感しております。月に数回しか活動ができませんが毎日活動しいつでも行ける場所作りをしたい
- ・「学校で友達とケンカしちゃった」とか「お母さんが忙しくて寂しい」とか、小さいモヤモヤを打ち明けて、
少し気持ちが晴れるような、子ども達の新しい居場所にしたい
- ・学生ボランティアの継続的な獲得で、子ども食堂に行ったらあのお兄ちゃんと、遊べる、勉強できる、
お喋りできる等、食事の提供以外のプラスαの魅力ある居場所にしたい など